

令和3年第5回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和3年5月27日（木曜日） 午後2時00分から3時51分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・井上三枝・新堀陽子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 大野仁・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 志村憲一・学校教育課副参事 利根川典正・生涯学習課長 中條智則・高麗川公民館長 中野俊彦
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第20号・21号、配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 議案第20号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について  
原案どおり可決
- 議案第21号 日高市人権教育推進協議会委員の委嘱について  
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
  - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
  - その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。
- 3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨
 

【教育長報告関連】

(委員) 修学旅行の日程について、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、今年度はどういった状況か。

(教育部参事) 現状では、高根中学校は終了した。高萩中学校は7月8日に予定しているが、旅行先のまん延防止等重点措置が継続されていた場合は秋に延期する。

他校についても感染状況を考慮して判断していく。

(委員) 行き先等を変更した場合のキャンセル料はどうなっているのか。

(教育部参事) 旅行日の 20 日前を過ぎるとキャンセル料が発生する。また、行き先を変更すると企画料金が発生する。行き先を変更せずに日程を延期した場合は企画料金は発生しない。

(委員) 現在のキャンセル料の発生状況はいかがか。

(教育部参事) 高麗川中学校が行き先を京都・奈良から秩父に変更したため、企画料金が発生する。高麗・高萩北・武蔵台中学校についても、京都・奈良から行き先の変更を予定している。

(委員) 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が発出されている場所を旅行場所とすることはできないが、変更先を検討する際は、更なる行き先変更といった事態にならないよう慎重に行わなければならない。行き先を北陸方面に変更した学校はどういった理由でそうしたのか。

(教育部参事) 行き先の変更については、判断する時点での新型コロナウイルス感染症の発生状況を勘案して行っている。

(委員) この先の感染状況を読むことは難しい。全国的な観光地における今後の感染拡大のリスクを考慮して変更先を検討しないと、更なる行き先変更や中止といった事態となり、子どもたちを落胆させてしまう。行き先を重要視するのではなく、子どもたちが学校生活の最後に寝食を共にするといった経験をさせることを最優先とし、確実に行ける場所を選定したほうがよいと思う。

(委員) 日高塾中止の理由を伺いたい。

(学校教育課副参事) 講師としてお手伝いをいただいている地域の方と話し合いを行い、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して判断した。

(委員) 講師には高齢の方も多いと思う。ワクチンの接種が進めば状況が変わってくるかもしれない。

(委員) 共学の県立高校の入試について、東京都では男女で定員を別けていると聞いたが、埼玉県では男女の割合を考えて別々に行っているのか、男女の比率を考えずに行っているのか。

(学校教育課副参事) 県立高校において男女比率で点数を分けるということは行っていない。

(委員) 令和 4 年度の県立高校入試の日程について、新型コロナウイルス感染症を考慮した日程となっているが、陽性者であった者の追検査を 11 日後としている根拠があるのか。

(学校教育課副参事) 令和 3 年度の日程では、卒業式当日に進路が決定していない生徒がいた。そのような事態にならないよう日程が組まれている。

(委員) 医学的な見地から言えば最低でも 14 日間は開けたほうが安全である。子どもたちのための改善であるなら、今後は卒業式の日程を変更する等も考えていくべ

きである。学校の教育課程は年度当初に決定し、その後の変更がしづらい印象がある。今まで当たり前に行ってきたことを見直す時期である。

(委員) 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、教職員には体調不良時は休暇をとるよう指導しているが、実際に各学校ではそういった休みをとりやすい環境となっているのか。管理職では気づかないこともある。年齢が離れすぎていると異変に気づきづらくなると思う。近い年代同士で先輩教員が指導できる体制を作ることが重要である。教育指導力の向上やメンタルヘルス、不祥事の防止など多くのことにつながってくると思う。

(委員) 各学校長と人事評価当初申告の面談を行っているが、特色ある取り組みはあるか。

(学校教育課長) どの学校もコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を重視している。また、各校コロナ禍で、できることやできないことなど、子どもたちと一緒に考えて行事を作り上げている。

(委員) 小中一貫教育の考え方はいかがか。

(学校教育課長) 昨年に引き続き、中学校の教員が小学校に乗り入れて授業を実施する。コロナ禍で小学校と中学校の子どもたちの交流ができていないので、今後増やしていきたいとの意見もあった。

(委員) 教職員のメンタルヘルスの様子はいかがか。

(学校教育課長) 昨年度から病気休暇が増加傾向にある。

(教員) 新規採用教員の様子はいかがか。

(学校教育課長) まだ少し落ち着かないクラスも見受けられるが、一生懸命がんばっていると報告を受けている。

(委員) 今年度から、公民館長が市の部長級を退職した再任用職員から、全員主幹級職員となった。学校運営協議会などで、校長らに思ったことを発言できているか。

(高麗川公民館長) まだ学校運営協議会に出席していないので雰囲気はわからないが、聞きたいこと、言いたいことは発言しようと思っている。

(委員) 広い視野で意見を言ってもらいたい。

(委員) 施設分離型を予定している小中一貫校については、教員の乗り入れは行っているのか。

(教育部参事) 高萩北地区では、中学校から小学校に乗り入れている。

(委員) 近年、小学校の理科系の難易度は上がっている。そこに中学校の教員が指導にくることはよいことであるが、教員の負担が増加するので、乗り入れを見越した人事配置を行うなど、よく考えて実施しなければならない。簡単にできることではないと思う。

(教育部参事) 今年度の小中一貫教育推進協議会では、地域の特性に応じたカリキュラムの作成を目標としている。

(委員) 情報収集と検証をよく行ってほしい。

(委員) 最近、学校でいじめのアンケートが行われたようであるが、定期的に行っているものなのか、問題が発生したので行ったものなのか、保護者の中で心配や憶測が飛び交ってしまう。

(学校教育課副参事) 年間3回以上各学校の判断で実施することとしている。アンケートの目的を示したうえで実施するようにしていきたい。

(委員) アンケートの内容は全学年同じものなのか。

(学校教育課副参事) 伝えたい内容は変えずに、学年で言葉を変えるなど工夫をしている。

(委員) いじめのフィールドは休み時間や登下校の時に授業中は行われない。

(教育部参事) 最近ではSNSによるいじめも問題となっている。

(委員) 小中一貫教育について、施設分離型の一貫校は難しさを感じる。学校運営協議会で土台ができ始めた。コロナ禍ではあるが、今後進める地域学校協働本部において、可能な限り公民館サークルなどに協力をいただいて、地域との交流が深めていければと思う。

(教育長) 地域と共にある学校を実際に組織化していきたい。

(委員) 昨今は何でも学校の責任する風潮があるが、家庭学習やいじめ問題など、学校だけで行えることには限界がある。地域への協力要請を増やしてはいかがか、学校への協力なら惜しまない人は大勢いると思う。地域にとっても子どもが地域行事に来てくれれば嬉しいはずである。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第20、21号

【非公開のため記載せず】

#### 5) その他

##### (1) 次回定例会の日程等について

○6月定例会：6月23日(水曜日)午後1時40分から 委員了承

○7月定例会：7月21日(水曜日)午後1時40分から 委員了承